

『世界の動きと日本』のことを学んでみませんか！

～米国の覇権の後退と中東の混乱、不況に向かう世界経済～

日時：平成28年4月1日(金曜) — 入場無料 —

場所：新所沢公民館ホール 新所沢駅西口 徒歩7分

受付：午後1時00分 開場

開演：午後1時30分 ～ 3時30分

講師：茂木 貴(40数年間社会科教論として都立高校に勤務)

講義内容

第二次世界大戦の終結後、70年の経過した今日、中東の政変以降世界の情勢は大きく変わろうとしております。その変化の歴史的背景と方向性を考えたいと思います。

1) 東西冷戦(米ソ対立)の期間

1945年から1989年の冷戦終結までの時代を振り返ります。

2) 「唯一の超大国アメリカ」の期間

ソ連の崩壊により世界はアメリカの覇権で再編成されます。

3) 「テロとの戦争」とリーマンショック

2001年のアメリカ同時テロをきっかけに「戦争」を宣言した米政権。

4) アメリカの覇権の後退と多極化の現在

不況の世界経済を横目に、中国がGDP世界2位に躍進、その経済力を背景に影響力を拡大し、ロシア、インドなどとBRICSを結成する。

中東、南シナ海など、政治・軍事面での新たな動きが表面化しています。



茂木 貴(もてぎ たかし) 専門：社会科(主に政治経済)

早稲田大学政治経済学部卒業後 40数年間社会科教論として都立高校に勤務
現在も三鷹市の社会教育講座で年間10回程度の講師を務める 栃木県出身